

仕組み理解して利用

目指せ！
お金の達人



② オンラインゲームの課金

経済産業省の調査によると、国内のオンラインゲームの市場規模は2021年に1兆6千億円を超えました。スマートフォン（スマホ）の普及やコロナ禍の巣ごもり消費が背景にあると考えられます。今回は拡大するオンラインゲームにおける注意点について、若年層の課金トラブルを中心に考えてみましょう。

Q そもそもオンラインゲームって何？

A パソコン、スマホ、タブレット、家庭用ゲーム機などからインターネットに接続した状態（オンライン）で行うコンピュータゲームです。離れた場所にいる友達や世界中の人たちと同時にプレイできるという特徴があり、ボイスチャット機能があれば、他の利用者と会話しながら協力して対戦することもできます。

Q 若年層の利用状況は？

A 内閣府の2022年度「青少年のインターネット利用環境実態調査」によると、小学生では86.2%、中学生では84.9%、高校生では77.9%が何らかの機器で「ゲームをする」と回答しています。

図1は全国の消費生活センター

に寄せられた相談件数の推移を契約当事者の年齢層別に表したもので、20歳未満が過半数を占めています。トラブルに遭う危険性にも注意が必要です。

Q 若年層に多い課金トラブルってどんなもの？

A ゲームの利用登録は無料でも、ゲームの進行によって有料のアイテムが必要になる場合があります。

富山県金融広報委員会
金融広報アドバイザー
漆間 明子

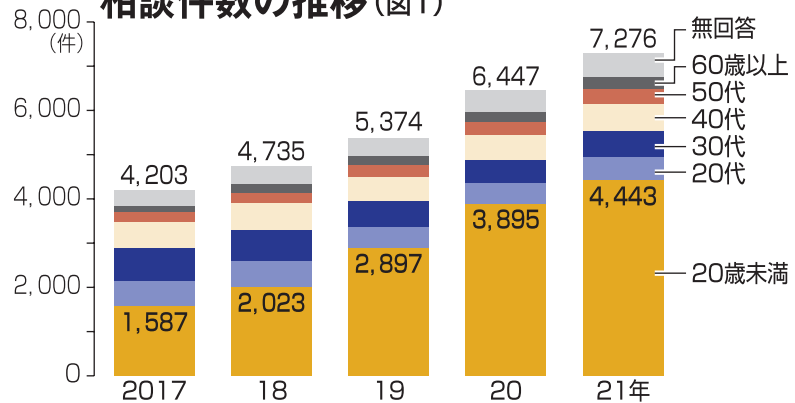
子どもたちはどうしているのでしょうか。「中学生がスマホに親のクレジットカード情報を勝手に登録して多額の課金をしていた」「小学生に古いタブレット端末を渡して遊ばせていたら、親のクレジットカード情報が残っていたため課金できてしまった。課金する際には、年齢確認画面で『20歳以上』を選択したらアイテムがたくさん購入できたようだ」など、保護者は高額な請求がきて、初めて課金に気づくことが多いのです。

また、子どもたちはアイテム購入がゲーム内の話で、本物のお金がかかると思っていない場合もあります。ゲームを進めるうち課金を繰り返して、思いもよらぬ金額に膨れ上がるケースもあるのです（図2）。

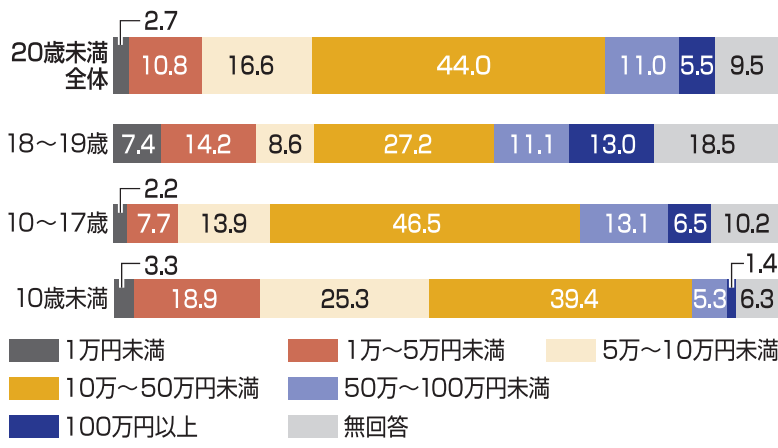
Q では、何に気を付ければいいの？

A 保護者の方へ。①若年層には、ゲームは達者でも契約には疎い。ゲームごとに一緒に課金の仕組みを確認する。②クレジットカードの管理を徹底し、カードの利用明細も小まめに確認する。③カード情報が登録されたままの端末を不用意に使わせない。若い皆さんへ。①課金の仕組みをよく理解する。②チャットでは、むやみに個人情報交換しない。③チャットでの発言に注意し、禁止されているアイテムの交換や売買をしない。今後もオンラインゲームを利用する際は、注意することも忘れずに楽しんでください。（消費生活専門相談員）

① インターネットゲームに関する相談件数の推移 (図1)



① インターネットゲームに関する相談の契約購入金額 (図2) 【2021年、単位は%】



※図1、2ともに「2022年消費者白書」を基に作成